

巻頭言

デジタルプラクティス編集委員会委員長 平田圭二

LSI上のトランジスタ数が1.5年ごとに2倍になるというムーアの法則は、皆様よくご存じだと思います。このムーアの法則が成り立っている約50年の間、半導体産業に携わったエンジニアの総数は数百万人の規模を下らないでしょう。私は、これら無名の多くのエンジニアたちが日々の現場において不断の創意工夫を重ねた結果が、ムーアの法則という形として顕在化したのだと思います。

ムーアの法則はLSIの話ですが、IT技術者も日々の現場において不断の創意工夫を重ねています。現在国内には、ITベンダに勤めるIT人材が約82万人、ユーザ企業に勤めるIT人材が約28万人おり[1]、情報サービス産業の従業者は約107万（内7割強がIT技術者）です[2, 3]。IT技術者の多くを技術開発に駆り立てている原動力は、自分の持てる技術を通して世の中に貢献したいという意志とプライド、自分の作り上げたシステムがどんな動作をするのか見てみたいという好奇心、そして、作ること自体が面白くて仕方がないという純粋な喜びではないでしょうか。また、日本にこういう土台があるからこそ、多少のリスクを冒してでも起業に挑戦してみようという人やイノベーションを起こそうという人が現れるのだと思います。私は、無名の多くのIT技術者を誇りに思うと同時に頼もしくも感じます。

デジタルプラクティス（DP）は、そんなIT技術者の技術者による技術者のための論文誌を目指してきました。その使命は、IT技術者が日々生み出している優れたプラクティスを論文の形できちんと残し社会に発信し続けることです。論文という形式は科学者たちが400年間の試行錯誤と創意工夫を重ねて作り上げてきた人類共有の宝であり、技術や知識を表現し記録し公開することに関しては現時点で最も効率的かつ有効的です。しかし、プラクティスの表現・記録・公開に関してはさらに改良すべき点があるのではないかと考えています。著者や読者の皆様とともに、プラクティスに適した新しい論文の形式を模索し人類共有の宝に少しでも貢献することは、DP編集委員会にとっての喜びです。

本号は通算21号ですので、これで丸5年間DPを編集発行してきたこととなります。ムーアの法則によれば、この5年間でトランジスタ数は10.1倍になったはずですが、皆様のおかげで、デジタルプラクティスのプレゼンスもこれまでの5年間で10倍くらい上昇したのではないかと感じています。末筆になりましたが、この場を借りて、読者・著者の皆様、審査・編集に携わってくださった皆様に感謝したいと思います。

[1] IT人材白書2014, IPA.

[2] 情報サービス業売上高、従業員数の年間推移等, JISA (2014).

[3] 2013年版情報サービス産業基本統計調査, JISA.